

輪

新潟大学附属特別支援学校
学校便り 第520号
令和7年6月9日発行

小中運動会



高等部体育祭



御声援ありがとうございました

うんどうかい だい・せい・こう!

小学部体育担当 星野 佳

小学部は、個人種目「ゴールをめざせ! よういどん!」と団体種目「ハイパーフゾンクタイフーン〜走って跳んで大活躍〜」でした。個人種目では、学年が上がるごとに走る距離が長くなる徒競走をしました。体育の時間に練習を積み重ね、18人全員がゴールを目指して全力で駆け抜けることができました。団体種目では、ジャイアンにどら焼きを奪われて困っているドラえもんを助けるために、プールスティックを学年の友達と一緒に持ち、走ったり、回ったりして、ゴールにいるドラえもんへ無事どら焼きを届けることができました。途中のミニハードル、トンネル、平均台の障害物も勢いよくクリアして迫力のあるレースが繰り広げられました。



参加型種目「校長先生と教頭先生の落とし物を集めろ!」では、校長先生と教頭先生が落としてしまった紅白玉を児童と保護者、家族で力を合わせて全部拾い集めることができました。

保護者の皆様からの温かい声援を受けながら、それぞれの競技を楽しみ、全力で、元気一杯に最後まで取り組むことができました。本当にありがとうございました。

力を出し切った、小・中学部運動会!

中学部体育担当 村山 洋平

今年度の中学部種目は、徒競走「中学部オリンピック 2025! #全力疾走 42.195m」と団体種目「FUZOKU ばんぱく〜みんなでみゃくやまを元気にしよう!〜」でした。より速く走るためのポイントや友達と協力しながら運動することを意識しながら、体育の授業の中で繰り返し練習に励んできました。本番の徒競走では42.195m先のゴールテープ目掛けて、一人一人が全力を出し切って走り切ることができました。団体種目では、目玉を無くし元気がなくなった「みゃくやま」を救うためにチームの友達と一致団結しながら各パビリオンの運動に取り組みました。見事全ての目玉を見付け出し、元気にすることができました!当日はたくさんの熱い声援がパワーとなり、一人一人が持てる力を存分に出し切ることができました。



また、開・閉会式での生徒会による司会進行や開会式での中学部3年生の代表の選手宣誓、小・中合同リレーの各チームアンカーによる気合いの掛け声等、中学部として小学部の友達を引っ張る姿がとても頼もしかったです。競技だけではなく、一人一人が自分の役割を最後までやり遂げることができた運動会となりました。たくさんの御声援、本当にありがとうございました。

全力で勝利をつかみとれ! 白熱する体育祭 2025!

高等部体育担当 伊勢亀 祥平

当日は小雨も降る中でしたが、生徒たちは練習の成果を十分に発揮しながら、はつらつと活動することができました。生徒会や応援団、ダンスリーダーが中心になり、一人一人が役割を全うしながら自分たちの手で体育祭を作り上げました。生徒会長の開会宣言、応援団による元気な選手宣誓に始まり、ダンス合戦では、ダンスリーダーを中心に考えた素敵なダンスを披露してくれました。



選択種目の50m、800mでは、自分で出場種目を選択し、自分の記録に挑戦しました。体育祭当日もたくさんの生徒がベストタイムを更新することができました。大玉送りでは、練習時に自分たちで順番や役割分担などを考え、相談し、高等部らしい白熱した競技を見せてくれました。参加型種目では生徒会が自分たちで企画し、準備を進めてきました。当日はたくさんの保護者・卒業生の方々から御参加いただき、大盛り上がりとなりました。最終種目の学部リレーでは、一人一人が一生懸命にバトンをつなぐ姿が印象的でした。生徒全員が楽しみながら活動することができ、体育祭の成功を全員で喜び合うことができました。保護者、地域の皆様からは、大きな拍手や温かい御声援をいただき、ありがとうございました。